

身近な公園の活用に見るまちづくり

2026年

9月15日(火)

18:00~19:30



セミナー概要

これからの都市公園のあり方については、ストック効果をより高める、民間との連携を加速する、都市公園を一層柔軟に使いこなす、という3つの観点が示されています。全国で公園を柔軟に使いこなすためのユニークな試みが展開されている一方で、現場では担い手・人材の確保など、多くの課題もみられます。社会状況の変化を踏まえた、身近な公園の活用はどのようにあるべきなのか？ 本セミナーでは、神戸市の身近な公園を事例に話題提供をいただき、身近な公園の活用からみる、これからのまちづくりのあり方について考えていきます。



オンライン
(Zoom) 開催



参加費
無料

お申込みは上のQRコードへ

(1) 事例紹介

01

「身近な公園を活用したまちづくり」

SoooGoodながた
プロデューサー
西山 ゆたか



02

「公園を活用した健康づくり」

ヘルシアガーデン
Heather Life
亀井 智子



03

「公園におけるスケートパーク企画」

兵庫県立大学大学院
緑環境景観マネジメント
研究科 修士2年
Zhou Yuhong



(2) パネルディスカッション

テーマ 身近な公園の活用に見るまちづくり

登壇者：西山ゆたか・亀井智子・Zhou Yuhong

進行：塚田 伸也

兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 教授

/ 兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員

